

令和6年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工観光課

1 施設の概要等

施設名	河佐峡		
所在地	府中市諸毛町及び久佐町		
設置目的	観光事業の振興を図る		
施設・設備	キャンプ場、パークゴルフ場ほか		
指定管理者	R6.4.1	～	R11.3.31 (有)ジャパנקリーンサービス

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)		
	R4	20,000 人	28,480 人	11,773 人	8,480 人	142.4	%
	R5	28,480 人	29,609 人	1,129 人	1,129 人	103.9	%
	R6	26,968 人	22,404 人	-7,205 人	-4,564 人	83	%
	R7	人	人	人	人		%
	R8	人	人	人	人		%
増減理由	・キャンプ場については、コロナ禍による減少傾向がやっと止まりつつある。次年度からは徐々に回復させなければならないと考えている。 ・パークゴルフ場については、利用者(特にリピーター)の高齢化により減少したと考える。						

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】		【対象・人数】	
	・アンケート調査による意見の収集		利用者を対象に、任意で回答いただいている。	
	【主な意見】		【その対応状況】	
	・サイトが14区画しかないので、予約出来ない場合の対応、火を使用しなければ無料サイトも貸し出してほしい。		・そのように現場対応しております。	

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次報告書
	日報(必要随時)	○	設備の破損故障等随時
管理運営会議		【特記事項等】	
3 回 会場 市役所		・利用状況や不具合修繕状況について報告・提案をし、意見交換協議を行った。	
現地調査 (実施月)		【指定管理者の意見】	
1月		修繕発生時や運営に疑義が生じた都度に協議を実施している。	
2月			
3月			
4月			
5月			
6月		【市の対応】	
7月		施設調査 週1回～2週に1回	
8月		ヒアリング(電話等含む) 随時(週1回以上)	
9月		設備の破損故障等が生じた場合は、現地調査を実施	
10月		川開き前に施設点検	
11月			
12月			

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	15,842	335		R4	0	0
	R5	16,507	665		R5	0	0
	R6	16,986	479		R6	2,607	2,607
	R7				R7		
	R8				R8		

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R5決算額	R6決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料	16,507	16,986	479	物価高騰・人件費高騰のため
	料金収入	0	2,608	2,608	R5は使用料のため未記載
	その他収入	112	1,150	1,038	パークゴルフ同好会会員の年会費
	計 (A)	16,619	20,744	4,125	
	支出				
	人件費	8,845	11,185	2,340	観光協会からの出向職員給与
	光熱水費	1,501	1,442	-59	電気使用料金ほか
	設備等保守点検費	339	3,198	2,859	浄化槽点検費用、清掃業務費、警備費
	清掃・警備費等	4,386	1,361	-3,025	清掃業務費・警備費は設備等保守へ移管
	施設維持修繕費	294	1,523	1,229	施設の老朽化に伴う各所修繕経費
	事務局費	249	1,841	1,592	弊社事務局運営経費
	その他支出	955	194	-761	イベント経費(イベント会社へ支出)
	計(B)	16,569	20,744	4,175	
自主事業	収支①(A-B)	50	0	-50	
	収入 (C)	0	1,150	1,150	売上金を計上しその他は委託事業費へ包括
	支出 (D)	0	0	0	
	収支②(C-D)	0	1,150	1,150	
合計収支(①+②)		50	1,150	1,100	

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	・河佐峡キャンプ場、パークゴルフ場は、地域に長年親しまれており、府中市の観光交流施設として重要な役割を担っている。 ・施設の魅力を束ねて、市内外に情報発信することで集客数の増加に努め、少しでも滞在時間を長くすることにより、観光消費額アップを目指したい。 ・キャンプ施設利用者の拡大を図るためには、個別のニーズを踏まえた新たな需要づくりが必要である。ファミリー層、ソロ、デュオというタイプ別に、集客に結びつく具体策を仕掛けていきたい。 ・キャンプ場については、自然の中だから自然体験という発想は切り替えて、ファミリーユースの場合は、山の中でハロウィンがあったり、クリスマス会があったり、特別な思い出づくりならば大切な体験となる。それぞれのニーズを把握し、さらにブラッシュアップしていくよう考えている。 ・パークゴルフ場利用人数の増加については、同好会会員が利用しやすい環境(おもてなしも含めて)を維持することはもちろん、年間試合数を増やして会員相互の交流の場を増やし、地域を越えて活発な親睦の輪を拡げることも大切なことと考えている。 ・八田原ダムを起点に考えるならば、世羅町と府中市とが年に数回、交流事業を開催し、両市町の共通の大切なダム資源を地域づくりの中で認識してもらい、観光振興を役立てていくよう考えている。 ・恒例の両市町の綱引き大会に加えて、パークゴルフ大会等も市町対抗で開催が出来るよう取り組む。	・混乱が生じないよう、前指定管理者から正確に業務を引継ぐよう努めること。 ・WEB等の口コミの把握やWEBアンケート等を実施することで、幅広く利用者のニーズを把握することができ、利用者数の向上に向けた対策を的確に行うことができる。また、利用者からのご意見に対し迅速かつ丁寧に対応することで満足度向上に繋がるものと考えている。 ・計画どおり実施できなかった事業については、実施方法の見直しや代替案を計画すること。 ・現場との緊密な連携を図ること。 ・施設のルールを利用者に対し周知すること。ルールを変更する場合は周知期間を設け、利用者から理解が得られるよう努めること。 ・SNSなどを活用して情報発信の回数を増やすこと。 ・適切な人員配置を行うこと。 ・管理に必要な物品等については速やかに準備すること。 ・報告等を速やかに行うこと。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	・キャンプ場については、7月、8月に多くのお客様が集中しており、この時期に親水性を高めるため、「ジャブジャブ池」を活用して、ヤマメやアユの「つかみ取り」、「ヤマメの釣堀」も計画的に開催し、キャンプ客の夕食の食材に加えてもらう新たな観光スポットとしてニーズになればと考えている。 ・1年間通して八田原ダムとの連携を図るため「電動アシスト付き自転車」を配置し、キャンプ場からパークゴルフ場～自転車と一緒にダムエレベーター～ダム天端～芦田湖オートキャンプ場前～河佐峡というコースで、レンタルサイクルに取り組みたい。 ・キャンプの形態もソロやデュオのキャンパーが増加していることから、「テントサウナ」や「アウトドアチェア」の貸し出しを始めていきたい。 ・パークゴルフは毎月2回の定例大会に加えて、府中市内・世羅町内の企業や自治組織島を訪問し、新規の顧客開拓に取り組む。	・提案内容及び自主事業の計画的な実施。 ・閑散期の利用者獲得に向けた事業展開。 ・水難事故防止のため、継続した安全講習会の実施及び利用者への呼びかけ。 ・事業の進捗管理。 ・老朽化した設備等の計画的な修繕。